

# Join

国際理解教育通信  
第39号  
2020年12月発行



初めて自分の英語のスキルを使って、同年代の人と交流することができました。思わぬところで躓いたり、かと思えば意外とすんなり進んだり面白かったです。初めての体験でしたがとても楽しく、まだ話し足りないです。また、実践してみることで少しは英語を話すのに慣れたかな、と思います。

初めは、「オンライン」という言葉に動揺してしまっただ。しかし、日々準備を進めていく中で自分が学校の代表であり日本の代表であるという意識が芽生えた。本番当日は、今まで培った英会話術を使うことができ安心した。今回で得た「人とのつながり」、「世界の視点」を大事にしたい。

相手が何が言いたいかわかって、自分の言ったことが通じたときとても嬉しかった。

## シンガポール オンライン交流



例年高等部で実施している短期交換留学ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。そこで、シンガポールの交流校Hwa Chong Institutionと、同時期にシンガポール留学を行っている筑波大学附属高等学校さんとコラボし、3校でのオンライン交流を実施しました！

参加者は、高等部1年生から阿部未聖さん、萩尾丹子さん、南平莉穂さん、山木陽菜さん、中村香音さん、高等部2年生から吉岡悠希さん、中川雄策さん、木村梨紗さん、東藤百音さん、山崎凜子さん、吉野将和さん、李暁さんの合計12名です。

国際交流もしっかり楽しみながら、オンライン交流ならではの学びも享受できたようで嬉しく思います。これからも交流が続いたら良いですね！



### Pre-session

マッチング、プロフィール交換、自己紹介動画交換、メールのやり取り

### Main session

プレゼンテーション（日本の食文化について&学校について）

ディスカッション（Positive / Negative impacts of COVID-19）

Economic / Education / Environment

### Post-session

バディに手紙を送る、SNSでの交流



### 参加者の感想

私は英語がとても苦手だったので、少しでも改善すればと思い参加しました。この交流会ではシンガポールの学生がメールでも積極的にコミュニケーションをとってくれたので、シンガポールの文化について知ることができました。当日はパソコンのトラブルなどもあり、戸惑うこともありましたが、全員が優しくサポートしてくれたので、楽しかったです。咄嗟に言葉が出なかったり、話の流れが速かったりなど自分の実力不足も実感することができ、有意義な時間を過ごせました。

自分の実力不足を感じるとともに、自身の視野が少し広がるきっかけになってとても有意義な期間でした。





はじめは不安しかなかったけど事前準備での交流などで仲良くなれてよかったです！

私はコロナ経済についてシンガポール生と筑波生とディスカッションしました。シンガポール生から出てくる単語一つ一つが私にとっては知らない単語で戸惑う事が多々ありましたが、落ち着いてバディに聞き返す事でお互いのコミュニケーションが合うことが分かり、分からないからって聞き返さずに下を向くより、分からないなら堂々と聞き返すことが大事だと改めて感じることができました。また英語が少しでも話せると世界の視野がより一層広がるということが分かりました。なので私自身、これからも英語力を伸ばせるよう頑張りたいと思います。このような素敵な体験を企画してもらいありがとうございました。これからはSNSや手紙を通してシンガポール生と交流していきたいと思います。

HCI生のプレゼン技術の高さに刺激を受けました。

またオンラインでの英語の会話は、普段の会話より数百倍難しく感じました。

この交流会を通して、自分のプレゼン能力とリスニング能力の向上をしていこうと思いました。

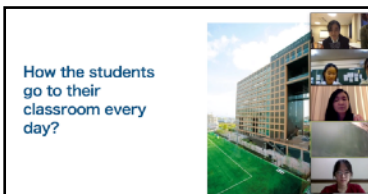
初めてのオンライン交流会で、オンラインならではの難しさがたくさんあり、トラブルもあったけれど、臨機応変に対応していくことができました。オンラインでの会話は対面のように上手いかかず、その上言語が違う人とのオンラインでの交流はとても難しかったです。シンガポールの人たちが話す英語は普段聞き慣れているアメリカなどの英語とは違ったため、何度もバディの人に聞き返してしまいましたが、ゆっくり話してくれたり、わかりやすい言葉に変えてくれたりしたので、理解でき、それに対する自分の答えや感想も言うことができました。短い準備期間と、短い交流会だったにもかかわらず、とても充実した貴重な経験をする事ができ、このプログラムに参加してよかったと思いました。



zoomで離れた学校と交流するのは初めての経験だったので、上手いかなかった部分もありましたが、異国の文化を知りコロナについて意見交換をするいい機会になったと思いました。シンガポール生の方々は本当に英語が上手で学ぶ点が非常に多かったです。また、海外の学校と英語で交流する機会はありませんでしたが、日本国内の離れた学校と交流するのも新鮮でした。この交流を通して、自分に足りない部分や改善点を見つけることができたので、これから更に英語を勉強し彼らとまた楽しく交流したいと思いました。



今回の交流会は例年とは異なるオンライン上での交流となりましたが様々な学びを得ることができて良い経験になりました。交流するまではホワチョンの方や筑波大学附属高等学校の方とうまくコミュニケーションを図れるのかとても不安でした。しかし、お互いの国や学校についてプレゼンしている間に緊張がとけてディスカッションするときにはお互いの意見を交換することができ、充実した時を過ごすことができました。コロナについてのディスカッションでは環境という分野から私たちの取り組めることについて話し合いました。環境という視点から考えるのはとても難しく、また言葉の壁にぶつかり相手にうまく伝えることができませんでした。英語のスキルをもっと磨き、また機会があればリベンジしたいです。



シンガポールについて深く知ることができ、コロナによる影響で増加傾向にある様々な問題についても改めて考える良い機会になりました。この交流会に参加できたこと、このために関わってくださった方々、新しく出会ったホワチョンや筑波大学附属高等学校の学生さん、全てのことに感謝すると同時に、今回の交流会を通して学んだことを忘れずに、この経験を今後生きていきたいと思います。

今回初めてオンラインでの交流に参加させていただいて、実際に会う交流とは違う学びがありました。zoomではみんなが一齐に話すというよりは順番に話していくという感覚が強く、話し始めるタイミングが難しく積極的に自分から話す姿勢を学べました。実際に会って話すときはジェスチャーなどで言葉につまってもコミュニケーションが取れたけれど、今回はほぼ言葉だけだったので、ものすごく伝えるのが難しく、自分の英語の拙さを痛感しました。シンガポールの子が英語を流暢に話せていて、自由自在に自分の意思を伝えている様子を見て、私も英語をもっとアウトプットしていく練習を積みたいと思いました。また、ディスカッションの時間でHCIの子から聞いた「シンガポールの労働者に占める地元の人割合がコロナ禍になってから増えた」という変化は日本にはなく多民族な国ならではの、すごく興味深いと思いました。同じ新型コロナウイルス感染症の影響という話題でも国の背景などによって全く異なるということは実際に海外の子と話さないとわからないことだと思うので、貴重な勉強になり、すごく楽しかったです。パディの子とはSNSを交換することができたので、今度も交流を続けたいと思います。



## 台湾に報告書が届きました！



台湾短期交換留学プログラムでは、新型コロナウイルス感染症の影響で3月に予定されていた訪台がキャンセルになってしまいました。

そこで、プログラム参加者たちが行う予定だったプレゼンテーションなどを、冊子にして送付しました。

そして先日、現地担当者より、無事に報告書が届いた旨と写真が届きました！懐かしい顔のパディたちを見ると、受け入れプログラムの思い出が蘇ってきます。今回の訪問はできませんでしたが、いつか状況が改善したら、必ず再会を果たしましょう！



## 国際交流委員、学校紹介動画制作中！



現在、国際交流委員では、留学生に本校の施設やルールなどを伝えるためのビデオを制作しています。

今までは英語での学校案内動画が無かったので、留学生が来校する度に教員が学校案内を行っていましたが、この動画のおかげで、外国人にとっても本校の学校生活がイメージしやすくなると思います！

みなさん撮影や編集はお手の物で、素敵な動画が仕上がってきています。乞うご期待！



今後の国際交流：3月に台湾とのオンライン交流会を予定しています。

対象学年や内容などは、また改めてお知らせします！